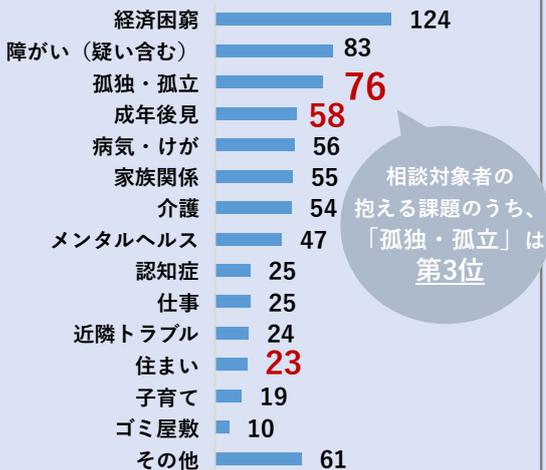


## 「おひとりさま」でも 安心して暮らせる社会に



2026・2

### 令和7年度「えしこに」相談内容 ※4-9月



### 「孤独・孤立」相談の多くは「身寄りがない」問題

「えしこに」では、福祉の総合相談窓口としてさまざまな相談をお受けしています。令和7年度前半の相談の、第3位である「孤独・孤立」問題の多くは、「一人暮らししているが親族と疎遠で頼れる人がいない」、「〇〇の手続きをしたいが保証人がいない」・・・というような、身寄りがないことでの困りごとです。

このような困りごとの増加は全国でも同様で、背景にあるのは少子高齢化、核家族化など様々な理由が考えられます。米子市でも、解決に向けてひとつひとつ取り組みを始めているところです。

### 令和7年度 米子市の取り組み紹介 ※一例です

#### R7.10 住宅政策課

「米子市居住支援協議会」を設立しました

身寄りのない方を含む、住宅を確保することに配慮を要する方が民間賃貸住宅に円滑に入居できるように、市や関係団体が連携し、協議を行う会を設立しました。



その他にも色々な制度や取り組みがあります

#### R7.4 長寿社会課

「高齢者のためのひとり暮らしあんしんガイド」を作成しました

ひとり暮らしの高齢者の方が安心して生活できるように、役立つ情報をまとめた冊子を作成しました。



住宅セーフティネット制度

#### R8.1 長寿社会課

「シニアのための人生設計フェア」を開催しました

高齢者の方などが、今後の人生について考え、これからの日々をより豊かに過ごすためのイベントを開催しました。



成年後見制度

エンディングノート「私の人生手帳」

### 未来の自分のために、今からできること

「ひとり」で過ごすことは決して悪いことではありません。ただ、災害時や何か困りごとが出てきたときには、誰かを頼ったり、相談ができるような、「つながり」を作っておくことが大切です。自分以外の方に少し目を向けてみたり、自分の心地良い居場所をみつけたり・・・自分に合ったさまざまな方法があります。

あなたは、お隣の家の家族構成をご存じですか？この3日間の間で誰かと5分以上会話をしましたか？・・・ひとりの時間を楽しみつつ、自分以外の方とも細く長く「つながっておく」大切さについて、もう一度見直してみませんか。

### 予防するために・・・ 「つながり」づくり

地域で  
住民ひとりひとりが  
できることは？



支援機関で  
できることは？



行政で  
できることは？

このような問題に関連した「えしこに」での相談ケースを裏面でご紹介しています。

### えしこに（ふれあいの里総合相談支援センター）

米子市福祉保健部福祉政策課

☎ 0859-21-8428

【住所】〒683-0811

鳥取県米子市錦町1-139-3（ふれあいの里2階）

【メール】 furesato@city.yonago.lg.jp



#### バスでお越しの場合

【米子駅より】

- だんだんバス（ループバス）乗車  
ふれあいの里（敷地内）で下車
- 一般路線バス（イオン線・産業体育館線 等）乗車  
公会堂前で下車後、徒歩5分

#### JRでお越しの場合

JR米子駅からJR境港線に乗り、富士見町駅で下車後、徒歩5分



## 「えしこに」はどんな相談を受けているの？

シリーズで「えしこに」の相談内容を一部ご紹介します。

(個人情報の保護のため、特定できないよう内容を加工しています。)

今回は、おもて面でご紹介した「身寄り問題」にまつわるケースをご紹介します。

## CASE.1

【相談者は？】 調剤薬局の従業員

【だれのことで？】 ひとり暮らしの60代女性

【困りごとは？】

「入院・手術の予定があるが、身寄りがなく、保証人を頼める人がいない。」と利用者から相談を受けたがどうしたらいいか。

えしこにの対応

本人から直接話を伺うと、「保証人をお願いできる親族」はいないが、「緊急連絡先になってくれる知人」はいることが分かりました。「自分では病院に相談しづらい」という本人に代わり、病院に相談した結果、親族以外の方でも保証人として担っていただける役割について、病院内で協議していただけることになりました。



## CASE.2

【相談者は？】 施設の職員

【だれのことで？】 80代独身男性

【困りごとは？】

施設入所中の本人が脳梗塞にて倒れ、意思疎通が困難な状態になった。施設が把握する身元引受人である弟と連絡がとれず、対応に困っている。



えしこにの対応

弟の支援関係者とつながることができ、その結果、弟が入院中で対応ができないことが判明しました。また、本人が延命治療についての要望や葬儀会社との契約等を記した「私の人生手帳」が弟宅に保管されていることが分かり、姪が代わりに本人の要望に沿って対応することができました。

## CASE.3

【相談者は？】 ひとり暮らしの70代女性

【だれのことで？】 自分

【困りごとは？】

アパートの老朽化により退居を迫られているが、保証人がいないと転居先が見つからないと思っており、困っている。

えしこにの対応

本人と一緒に現在の管理不動産業者へ相談に行きました。これまで遅れることなく家賃を支払ってきた本人への信頼があったため、不動産業者が物件を仲介してくれました。



このようなご相談については、「えしこに」でもまだ解決策を持っておらず、それぞれの立場の方のご理解やご協力に助けられています。誰もが安心して暮らせる米子になるよう、皆さまと一緒に考えていきたいと思えます。

◆ ◆ ◆ まずはお気軽にご相談ください ◆ ◆ ◆

Interview 最近よく口に出しているセリフは？

スタッフの  
つぶやき

「今日も(海が)荒れと  
るな~↓」(まつ)

「明日雪降る??  
(ふじ)」

「温かいもの食べたい  
な(鍋・おでん...)」  
(ひぐ)

「もうこんな時  
間!!」(だて)

「新しい自転車ほし  
い」(はし)

「早く寝たい~!!」  
(かわ)

「そうですねえ...」  
(のぐ)

「〇〇(息子の名前)  
Youtubeおしまいして」  
(いな)

「ああ~温泉入り  
たい~」(ひろ)

